

科目	言語文化	学年	第1学年	開講	通年	必修	2単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書:精選 古典探究 古文編(明治書院)精選 古典探究 漢文編(明治書院)
 副教材:精選 古典探究 古文編学習課題ノート(明治書院) 精選 古典探究 漢文編学習課題ノート(明治書院)
 新精選 古典文法(東京書籍) 漢文必携(桐原書店) 重要古文単語315(桐原書店)

1 学習の到達目標

A知識・技能	社会生活に必要な国語の知識・技能を身に付け言語文化に対する理解を深める。
B思考・判断・表現	論理的に考え深く共感想像する力を伸ばし、他者に伝える力を高める。
C主体的に学習に取り組む態度	言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他社社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

学期	項目	単元	教材	主な学習内容	月	考查	評価の観点				
							A	B	C		
前期		はじめに	小石を集める(小川洋子)	・時間と空間を隔ててつながることのできる言葉の働きを理解する。 ・言語文化の特質について理解し、漢字や語句を正しく理解する。 ・自分の読書体験を振り返り、発表する。	4	中間		○			
	古文	1古文入門	宇治拾遺物語「児のそら寝」 古文を読むために1・2 単元の言語活動1	・説話の面白さを味わう。 ・文語のきまり、歴史的仮名遣いの読み方を理解する。 ・古文に親しみ、異なる時代の言語体系を学ぶ。	4			○			
		2随筆	徒然草 亀山殿の御池に/奥山に猫またといふものありて 古文を読むために3・4	・『徒然草』の作者のものの見方感じ方を捉える。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。 ・作者の主張を読み取り、批評文にまとめる。	5			○			
	現代文	1近代①	羅生門(芥川龍之介) 単元の言語活動1 フィクションの特性を話し合う	・近代日本文学を理解し内容や展開を的確にとらえる。 ・舞台設定・構成・描写に注目し理解する。 ・常用漢字、語句の意味を理解し正確に書き表す。 ・「下人」の行動について考えフィクションの特性をまとめて発表する。	6			○			
	漢文	1漢文入門	なぜ漢文を学ぶのか 訓読の世界 故事成語「蛇足」	・短い漢文を読み、漢文の世界に親しむ。 ・訓読の決まりを理解し文章の内容を的確に読み取る。 ・故事成語のもととなる戦国策「蛇足」の内容を的確に読み取る。 ・寓話の特徴を理解し、現代とのつながりを考察する。	7			○			
		3物語①	竹取物語 かぐや姫の生ひ立ち 古文を読むために5	・描かれた人物の心情を読み取る。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。 ・古典文学と月の関係について理解し、「つくり物語」の特質を理解し発表しようとしている。	8			○			
	現代文	近代②	うそとパン(幸田文) 単元の言語活動2 文学が伝えているのは、ストーリーだけではない	・食べ物にまつわる自分自身の苦い思い出をまとめ、表現する。 ・作品の成立した時代や背景を理解しさまざまな角度から考える。 ・語句の意味を理解し、常用漢字を正しく使う。 ・随筆の表現の仕方・特色をつかみ、読書を通じて自己を深める。	9		期末		○	○	
	前期 授業評価										
	後期	漢文	3詩文	詩 絶句 律詩 春晓 江南春 江雪 涼州詞 静夜思 春望 八月十五日夜禁中独直对月憶元九	・漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。 ・訓読のきまり、特有の表現を理解し、漢詩の内容を解釈する。 ・詩の詠まれた背景、作者の表現した心情を理解し、まとめる。		10		○	○	
		古文	4物語2	伊勢物語 芥川 古文を読むために6 音便・敬語表現	・歌物語とは何か理解し、表現された世界に親しむ。 ・語句の意味、助動詞、係り結び、副詞の呼応について理解する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・作品の中の和歌に表現された「男」の心情を理解し、まとめる。		11		○		○
近現代文		現代	青が消える(村上春樹)	・現代の小説を読み、作品に表れているものの方考え方を味わう。 ・小説の設定の意味や「青」と「ミレニアム」の関係を考え、理解する。 ・語句の意味、比喩表現とその効果を理解し、常用漢字を正しく使う。 ・小説が象徴する意味を考え、表れた見方考え方をまとめる。	12	中間		○		○	
詩歌編		1和歌・短歌	和歌 万葉集 古今和歌集 和歌の修辞 短歌	・古代から現代まで続く、短歌の形式を理解し作品を読み味わう。 ・和歌の修辞法・語句の意味と効果を理解し、内容を解釈する。 ・好きな歌を選び、表現するために工夫されていることを考える。	1		○	○			
漢文		4思想	論語 学問 政治 人生 古典に関する文章 知るということ	・『論語』に表れた老子のものの方考え方を理解する。 ・古典を読むために必要な訓読のきまり、語句の意味を理解する。 ・孔子の学問観・政治観・人生観についてまとめる。	2	期末		○	○		
後期 授業評価											

3 評価の観点

【知識・技能】定期テストなど
【思考・判断・表現】定期テストなど
【主体的に学習に取り組む態度】授業の取り組み姿勢、テキストの音読、課題・プリントの提出、ノートの整理、振り返りシートなど (評価算出方法)
【知識・技能】【思考・判断・表現】素点÷配点×100 定期試験
【主体的に学習に取り組む態度】平常点100点 記述及び行動